

広島大学埋蔵文化財調査室

調査研究紀要

第 2 号

2011

表紙デザイン

表紙（表）は鏡西谷遺跡C地区出土の同安窯青磁・皿および横田賢次郎・森田勉（1978）掲載の大宰府跡出土龍泉窯系青磁碗を利用して図案化した。表紙（裏）は鏡西谷遺跡E地区出土の絵画土器（弥生土器）を利用して図案化した。

広島大学埋蔵文化財調査室

調 査 研 究 紀 要

第 2 号

2011

広島大学埋蔵文化財調査室

序 文

このたび『広島大学埋蔵文化財調査室調査研究紀要』第2号刊行の運びとなった。本調査研究紀要は、2008年3月に広島大学の東広島市への統合移転に伴い約20年間にわたって実施した遺跡発掘調査の報告書刊行事業が完了したことを受けて、2008年度から刊行することになったものである。これまで、東広島キャンパスの開発に伴う埋蔵文化財関連業務については『広島大学統合移転地埋蔵文化財調査室発掘調査年報』として年度ごとに概要を報告してきたところであるが、東広島への統合移転に伴う埋蔵文化財関連事業が、資料の公開、保管・管理に重点が移ったことから、保管資料の学術研究を継続的に行うことができる環境が整い、その成果を公開する必要が生じてきたことから、年度を単位として研究成果を刊行物として公開することとなった。また、2004年4月の国立大学法人化に伴って広島大学全体の開発に伴う埋蔵文化財関連業務を担当することとなり、これまで以上に年度ごとの埋蔵文化財調査業務の概要を公開する必要にも迫られていることから、従来の『発掘調査年報』が持っていた役割に加え、研究面での成果公開を重要な目的として『調査研究紀要』としたものである。本来であれば、昨年度（2010年度）に第2号を刊行する予定であったが、開発に伴う埋蔵文化財調査業務が多忙を極め、本年度の刊行となった。

『調査研究紀要』第2号は、研究編、調査編、付編の3部で構成している。研究編では、広島大学東広島キャンパス農場地区造成に伴って発掘調査を実施した鏡西谷遺跡などの中世前期の畿内産瓦器を取り上げ、広島県西部（安芸地方）の関連資料を集成して考察を行った。調査編では2007年度の開発に伴う立会・試掘調査を中心とした埋蔵文化財関連業務の概要を収録した。付編には調査室が2007年度に実施した教育・普及・研究活動の概

要を報告した。

ところで、埋蔵文化財調査室の業務は多岐にわたっているが、開発に伴う埋蔵文化財関連業務、広島大学キャンパスの出土遺物・保存遺跡の保管・管理、同じく出土遺物・保存遺跡の公開・展示、保管遺物を中心とする学術研究、学部教育・普及活動の大きく5つに整理される。ここ数年間は、霞地区の再開発などに伴って埋蔵文化財関連業務は多忙を極めているが、その一方では旧陸軍広島兵器支廠関連遺構や近世およびそれ以前の遺物・遺構が確認されるなど様々な成果が上がりつつある。また、東広島キャンパスには量・質とも全国的に誇ることのできる遺跡が保存されており、年次計画で遺跡の整備を行っているところである。今後、調査室の機能を最大限生かしながら大学に課せられた責務の一端を滞りなく実施するとともに、教育委員会など関係諸機関と連携して社会貢献にも力を入れたいと考えている。これまで同様に皆様のご支援とご協力をお願い申し上げる次第である。

2011（平成23）年3月

広島大学理事（財務・総務担当）
埋蔵文化財調査室長
河本朝光

例 言

1. 本書は、研究編、調査編、付編からなる。研究編は、広島大学キャンパス内遺跡および出土遺物、広島大学寄贈・寄託遺物の研究をはじめ、これに関連する幅広い遺跡・遺物の研究を目的としている。調査編は、2007年度に行った広島大学キャンパス内の開発に伴う協議事項および立会調査、試掘調査、発掘調査の概要報告である。付編は、2007年度に埋蔵文化財調査室ならびに調査室構成員が行った普及・研究活動の概要と調査室設置要項などを収録した。
2. 研究編では、1981年度、1982年度に発掘調査を実施した鏡西谷遺跡を中心とする東広島キャンパス出土の瓦器を取り上げ、安芸地方の様相を検討した。
3. 調査編は、2007年度において、東広島地区（東広島市）、霞地区（広島市）、翠地区（広島市）、東雲地区（広島市）、宮島地区（廿日市市）、沖美地区（江田島市）、春日地区（福山市）の開発の伴って実施した協議事項と立会調査、試掘調査の概要である。
4. 付編は、2007年度の普及・研究活動の概要を収録した。また、調査室構成員については、本書の出版が2010年度であり、研究編、調査編に関わった構成員の一部が2007年度に退職し、2008年度から新体制で調査研究を行っていることから、2007年度～2010年度の構成員全てを載せている。
5. 2007年度の立会・試掘調査は、広島大学敷地が所在する教育委員会と協議・協力を行い、広島大学施設部の協力を得て実施した。調査は、藤野次史、榎林啓介が行った。
6. 研究編、調査編に関わる整理作業は、2007年度が、藤野、榎林、手島智幸、2008年度が、藤野、榎林、永田千織、2009年度が、藤野、永田、岩本、2010年度は、藤野、永田、八幡、岩本三津子が行った。
7. 研究編に関わる遺物の実測は、榎林、手島、永田、八幡浩二が行い、遺物に関する図面は、榎林、永田が浄書した。研究編、調査編に関わる遺物以外の図面は、藤野が作成、浄書し、永田が補助した。図版（写真）の作成は藤野が行った。
8. 調査編に利用した広島大学各キャンパスの建物配置図等は広島大学施設部から提供された図面を利用して作成した。
9. 本書の執筆は、研究編を、藤野、永田、八幡が、そのほかを藤野が行った。
10. 本書の編集は藤野が行った。
11. 研究編を作成するにあたり、広島県立歴史博物館鈴木康之氏、(財)元興寺文化財研究所佐藤亜聖氏から多くの有益な教示を得た。また、資料の実見に際して、広島大学考古学研究室、大阪府教育委員会、広島県教育委員会、(財)広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室、(財)広島市文化財団文化科学部文化課、(財)東広島市教育文化振興事業団文化財センター、(財)安芸高田市地域振興事業団、府中町教育委員会、廿日市市教育委員会、東広島市教育委員会、海田町教育委員会には資料実見の便宜を図っていただいた。
12. 巻末の英文目次については、広島大学総合博物館渋谷綾子氏に校閲をお願いした。
13. 研究編で取り上げた鏡西谷遺跡、山中池南遺跡第2地点の遺物は、広島大学埋蔵文化財調査室が保管している。

広島大学埋蔵文化財調査室
調査研究紀要第2号

目 次

第1部 研究編

安芸地方における瓦器の研究

永田千織・藤野次史・八幡浩二…………… 1

1. はじめに…………… 1

2. 広島大学東広島キャンパスの瓦器と出土状況…………… 1

A. 鏡西谷遺跡

1) B 地区

2) C 地区

3) D 地区

4) E 地区

5) F 地区

B. 山中池南遺跡第2地点

3. 東広島キャンパス出土瓦器の特徴……………19

1) 出土瓦器の型式学的特徴

2) 出土瓦器の分類

3) 瓦器の年代と共伴遺物

4. 安芸地方における出土瓦器と遺跡の様相……………42

1) 安芸地方の瓦器研究の現状

2) 安芸地方出土の瓦器

I. 西条盆地

II. 広島湾岸

III. 沼田川流域および芸北地域

3) 安芸地方における出土瓦器の年代

4) 瓦器出土遺跡における伴出遺物の様相

5) 安芸地方における瓦器出土遺跡とその性格

5. おわりに……………90

第2部 調査編

開発に伴う協議と立会・試掘調査の概要（2007年度）	109
1. はじめに	109
2. 試掘・立会調査の概要	110
3. 調査の成果	149

付 編

1. 普及・研究活動	153
2. 埋蔵文化財調査室の組織	163

挿図目次

- 第 1 図 広島大学東広島キャンパスおよび周辺の中世遺跡分布図
- 第 2 図 鏡西谷遺跡調査区配置図
- 第 3 図 鏡西谷遺跡 B 地区・C 地区瓦器出土状況
- 第 4 図 鏡西谷遺跡 B 地区出土瓦器実測図
- 第 5 図 鏡西谷遺跡 C 地区 S B 01 瓦器および遺物出土状況
- 第 6 図 鏡西谷遺跡 C 地区 S B 01 出土瓦器実測図 (1)
- 第 7 図 鏡西谷遺跡 C 地区 S B 01 出土瓦器実測図 (2)
- 第 8 図 鏡西谷遺跡 C 地区 S B 01 出土瓦器実測図 (3)
- 第 9 図 鏡西谷遺跡 C 地区 S B 01 出土瓦器実測図 (4)
- 第 10 図 鏡西谷遺跡 C 地区 S B 01 出土瓦器実測図 (5)
- 第 11 図 鏡西谷遺跡 C 地区出土瓦器実測図
- 第 12 図 鏡西谷遺跡 D 地区・E 地区・F 地区瓦器出土状況
- 第 13 図 鏡西谷遺跡 E 地区・F 地区、山中池南遺跡第 2 地点出土瓦器実測図
- 第 14 図 東広島キャンパス出土瓦器壙の口縁部形態分類模式図
- 第 15 図 東広島キャンパス出土瓦器壙の口縁端部形態分類模式図
- 第 16 図 東広島キャンパス出土瓦器壙の高台形態分類模式図
- 第 17 図 鏡西谷遺跡 C 地区出土瓦器壙口径分布図
- 第 18 図 鏡西谷遺跡 B 地区・C 地区・E 地区、山中池南遺跡第 2 地点出土瓦器壙口径分布図
- 第 19 図 鏡西谷遺跡 C 地区出土瓦器壙底径分布図
- 第 20 図 鏡西谷遺跡 C 地区・E 地区、山中池南遺跡第 2 地点出土瓦器壙底径分布図
- 第 21 図 鏡西谷遺跡 C 地区出土瓦器壙法量分布図
- 第 22 図 鏡西谷遺跡 B 地区・C 地区・E 地区、山中池南遺跡第 2 地点出土瓦器壙法量分布図
- 第 23 図 東広島キャンパス出土瓦器皿の口縁部形態分類模式図
- 第 24 図 東広島キャンパス出土瓦器皿の口縁端部形態分類模式図
- 第 25 図 東広島キャンパス出土瓦器皿の口縁部・底部境界部形態分類模式図
- 第 26 図 東広島キャンパス出土瓦器皿の口縁部・底部形態分類模式図
- 第 27 図 鏡西谷遺跡 C 地区出土瓦器皿口径分布図
- 第 28 図 鏡西谷遺跡 C 地区出土瓦器皿底径分布図

- 第 29 図 鏡西谷遺跡 C 地区出土瓦器皿法量分布図
- 第 30 図 鏡西谷遺跡 C 地区出土瓦器皿法量分布図
- 第 31 図 東広島キャンパス出土瓦器埴形態分類図
- 第 32 図 東広島キャンパス出土瓦器皿形態分類図
- 第 33 図 安芸地方における瓦器出土遺跡分布図
- 第 34 図 西条盆地出土の瓦器 (1)
- 第 35 図 西条盆地出土の瓦器 (2)
- 第 36 図 西条盆地出土の瓦器 (3)
- 第 37 図 西条盆地出土の瓦器 (4)
- 第 38 図 広島湾岸出土の瓦器 (1)
- 第 39 図 広島湾岸出土の瓦器 (2)
- 第 40 図 広島湾岸出土の瓦器 (3)
- 第 41 図 広島湾岸出土の瓦器 (4)
- 第 42 図 広島湾岸出土の瓦器 (5)
- 第 43 図 沼田川下流域・芸北地域出土の瓦器
- 第 44 図 西条盆地の瓦器埴法量図
- 第 45 図 広島湾岸の瓦器埴法量図
- 第 46 図 沼田川下流域・芸北地域の瓦器埴法量図
- 第 47 図 西条盆地・沼田川下流域・芸北地域の遺跡別瓦器出土破片数対比図
- 第 48 図 広島湾岸の遺跡別瓦器出土破片数対比図
- 第 49 図 広島大学の校地所在地図 (職員宿舎を除く)
- 第 50 図 2007 年度東広島地区の立会調査位置図 (1)
- 第 51 図 2007 年度東広島地区の立会調査位置図 (2)
- 第 52 図 2007 年度霞地区の立会調査位置図 (1 : 4000)
- 第 53 図 原爆放射線医科学研究所立会調査平面図 (1 : 1500)
- 第 54 図 原爆放射線医科学研究所立会調査検出遺構平面図 (1 : 1000)
- 第 55 図 薬学系研究棟周辺配管敷設工事調査区平面図 (1 : 1200)
- 第 56 図 歯学部研究棟 B 配管工事調査区平面図 (1 : 1000)
- 第 57 図 大学病院環境整備第 1 期工事調査区平面図 (1 : 3000)
- 第 58 図 大学病院環境整備第 2 期工事調査区平面図 (1 : 3000)
- 第 59 図 外灯設置工事調査区平面図 (1 : 4000)

- 第 60 図 No.5・6 新設外灯周辺検出遺構平面図（1：1000）
 第 61 図 電気配管ハブ（柵）周辺検出遺構平面図（1：1000）
 第 62 図 2007 年度翠地区の立会調査位置図（1：3000）
 第 63 図 附属中高校 2 号館耐震補強工事検出遺構平面図（1：200）
 第 64 図 宮島自然植物実験所門扉改修工事位置図（1：5000）
 第 65 図 附属学校臨海教育場囲障取設工事位置図（1：1000）
 第 66 図 埋蔵文化財調査室展示室（総合博物館サテライト）平面図
 第 67 図 山中池南遺跡第 2 地点保存地区 2007 年度整備図

表目次

- 第 1 表 鏡西谷遺跡 C 地区瓦器出土状況一覧
 第 2 表 鏡西谷遺跡 E 地区瓦器出土状況一覧
 第 3 表 西条盆地の瓦器出土遺構および包含層における瓦器と共伴遺物一覧
 第 4 表 広島湾岸の瓦器出土遺構および包含層における瓦器と共伴遺物一覧
 第 5 表 沼田川下流域・芸北地域の瓦器出土遺構および包含層における瓦器と共伴遺物一覧
 第 6 表 2007 年度（平成 19）広島大学における開発に伴う埋蔵文化財協議一覧
 付表 1 - 1 鏡西谷遺跡（B 地区・C 地区）出土瓦器観察表
 付表 1 - 2 鏡西谷遺跡（C 地区）出土瓦器観察表
 付表 1 - 3 鏡西谷遺跡（C 地区）出土瓦器観察表
 付表 1 - 4 鏡西谷遺跡（C 地区）出土瓦器観察表
 付表 1 - 5 鏡西谷遺跡（C 地区）出土瓦器観察表
 付表 1 - 6 鏡西谷遺跡（C 地区）出土瓦器観察表
 付表 1 - 7 鏡西谷遺跡（C 地区）出土瓦器観察表
 付表 1 - 8 鏡西谷遺跡（C 地区・D 地区・E 地区）出土瓦器観察表
 付表 1 - 9 鏡西谷遺跡（E 地区）出土瓦器観察表
 付表 1 - 10 鏡西谷遺跡（E 地区・F 地区・出土区不明）出土瓦器観察表
 付表 2 山中池南遺跡第 2 地点出土瓦器観察表

図版目次

- 図版 1 鏡西谷遺跡B地区・C地区出土の瓦器
- 図版 2 鏡西谷遺跡C地区（S B 01）出土の瓦器
- 図版 3 鏡西谷遺跡C地区（S B 01）出土の瓦器
- 図版 4 鏡西谷遺跡C地区・E地区・F地区、山中池南遺跡第2地点出土の瓦器
- 図版 5 鏡西谷遺跡B地区・C地区出土の瓦器
- 図版 6 鏡西谷遺跡C地区・D地区・E地区・F地区ほか出土の瓦器
- 図版 7 東広島市道照遺跡・大地面遺跡出土の瓦器
- 図版 8 広島市太田川放水路遺跡・比治山第2貝塚、海田町畝観音免第1号古墳出土の瓦器
- 図版 9 府中町水分神社遺跡、廿日市市菩提院遺跡出土の瓦器
- 図版 10 府中町石井城第Ⅱ号遺跡、三原市三太刀遺跡、安芸高田市郡山大通院谷遺跡出土の瓦器

写真目次

- 写真 1 1区外灯基礎部分堆積状況
- 写真 2 2区中央部電気配管掘り方と道路法面外灯基礎部分堆積状況
- 写真 3 電気配管敷設工事西端部ハンドホール掘り方部分堆積状況
- 写真 4 排水管敷設工事地区コンクリート面検出状況
- 写真 5 排水管敷設工事地区検出コンクリート面南端部の状況
- 写真 6 ガス管敷設工事地区コンクリート面および鉄製レール検出状況
- 写真 7 ガス管敷設工事地区検出鉄製レール
- 写真 8 排水管敷設工事地区検出コンクリート面断面の状況
- 写真 9 排水管敷設工事地区検出コンクリート面基礎栗石露出状況
- 写真 10 C地区瓦片出土状況
- 写真 11 F地区コンクリート面検出状況
- 写真 12 E地区掘削状況
- 写真 13 C地区検出遺構（煉瓦）
- 写真 14 第Ⅰ地区（第4区）完掘状況
- 写真 15 第Ⅱ地区（第7区）完掘状況

- 写真 16 第Ⅱ地区（第 11 区）完掘状況
- 写真 17 第Ⅲ地区（第 20 区）検出石組遺構
- 写真 18 第Ⅲ地区（第 22 区）検出石組遺構
- 写真 19 第Ⅲ地区（第 23 区）検出石組遺構
- 写真 20 第Ⅳ地区（第 36 区）掘削状況
- 写真 21 第Ⅴ地区時計台掘り方（第 51 区）完掘状況
- 写真 22 第Ⅵ地区（第 52 区）外灯基礎掘り方完掘状況
- 写真 23 新設No.5 外灯基礎検出コンクリート基礎
- 写真 24 電気配線ハブ（柵）検出煉瓦敷遺構
- 写真 25 第Ⅵ地区（第 52 区）No.14 外灯基礎掘り方集石検出状況
- 写真 26 第Ⅵ地区（第 52 区）No.17 外灯基礎掘り方完掘状況
- 写真 27 煉瓦積遺構検出状況
- 写真 28 コンクリート構築物検出状況
- 写真 29 褐色硬化面と土層堆積状況
- 写真 30 煉瓦積遺構検出状況
- 写真 31 開館記念事業（記念講演）
- 写真 32 開館記念事業（展示室公開）
- 写真 33 開館記念事業（遺物整理室公開）
- 写真 34 開館記念事業（保存遺跡見学）
- 写真 35 展示室入口
- 写真 36 展示室（情報・出土遺物保存処理コーナー）
- 写真 37 展示室（テーマ展示コーナー）
- 写真 38 展示室（常設展示）
- 写真 39 散策道路用土搬入状況
- 写真 40 散策道路階段部分整備状況
- 写真 41 散策道路完成状況